

## 第1回「北海道に夜間中学つくる会」事務局会議のまとめ

6月16日(木)、午後6時半より、2011年度第1回事務局会議が、エルプラザ2階消費者サロン2で開催されました。出席者は、工藤代表、泉事務局長、飯塚、工藤(朱)、小寺、白倉、篠原、船木(敬称略)の8名です。

### 議題について

1. 2011年度総会と映画「こんばんは」上映の報告と反省
2. 2011年度活動方針に基づいた当面の活動
3. 全国夜間中学校研究会「すべての人に義務教育を！専門委員会」からの要望

### 話し合ったこと

1. 総会は、会員数190名(過半数95名)のうち、出席者35名、委任状提出85名、合計120名で成立。札幌市議会議員が4名出席され、全員会員になっていただいた。市民ネットワーク石川議員(新)は、母親が遠友塾の卒業生で、今、有朋高校に通学している。

映画上映は、86名が出席。

議長を務めた船木さんは、議事進行が順調で時間に余裕が出たため、いろいろな人に意見を聞くと良かったと発言。

会費収入予算は、30万円で組んだが総会時点で、38万円収入。また、寄付を12万円してくれた方が、総会にも出席してくれた。

2. 活動について、「生活体験発表」の実施については、まず会場日程をおさえ、各自主夜中の都合を聞いて確定する。

9月17日(土)、10月1日(土)、いずれも午後でエルプラザの空き室を確認する。実行委員会は、6月25日(土)ないし7月2日(土)のいずれかで結成する。その呼びかけは各自主夜中代表に発信して行い、生活体験発表実行委員会を結成し、開催日程に向けて準備をする。

旭川が実行委員会に入らない場合、実行委員会から体験発表参加のよび掛けを行う。

- ◎会議終了後、空き室確認を行ったが、10月1日(土)午後6時以降、10月9日(日)午後1時からの状況。このいずれかの日程で、各自主夜中と調整。

総会後の挨拶回り。札幌市議会文教委員会、札幌市教委を初めに行う。道議会文教委員会、道教委への挨拶は、先の実行委員会において各自主夜中の要望や課題を集約してから行う。

道内自主夜中が会場確保や行政からの支援についてどのような問題意識を持

っているかをとりとめる。

3. 浅野慎一（神戸大学）「夜間中学の意義と課題」論文は、近畿地区の公立夜間中学校の生徒からアンケートとってまとめられた。それは一昨年（2009年）の全国夜間中学校研究大会で発表。それを全国に拡大し、なお自主夜間中学からもアンケートとりたい、との意向。今年度の全国夜間中学校研究大会で発表予定。

そのためのアンケート項目の検討要請が工藤代表に寄せられたが、遠友塾には来ていない。そのためこれらの要請を遠友塾に出すように要請。

第30回夜間中学増設運動全国交流集会「夜間中学を考えるつどい」（8月27日～28日）の案内。場所、静岡県伊豆の国市。

これについてはいままでも参加しておらず、見合わせる。

「埼玉県にも夜間中学を！」（7月23日）

この主催は、「すべての人に義務教育を！専門委員会」であり、毎年参加していたが、今回は遠友塾の参加をお願いする。

#### 札幌市議会文教委員

<b>委員長</b>	國安 政典(公明党、北区)
<b>副委員長</b>	伊藤 理智子(日本共産党、白石区)
<b>委員</b>	宮村 素子(自民党・市民会議、清田区)
	山田 一仁(自民党・市民会議、東区)
	こじま ゆみ(自民党・市民会議、厚別区)
	猪熊 輝夫(民主党・市民連合、南区)
	林家 とんでん平(民主党・市民連合、豊平区)
	村上 ゆうこ(民主党・市民連合、中央区)
	三浦 英三(公明党、清田区)
	石川 佐和子(市民ネットワーク北海道、北区)
	堀川 素人(市政改革クラブ、南区)